

Contents

1. 新入部員紹介
2. 全日本選手権結果
3. 全日本学生個人戦結果
4. 全日本学生選抜/全日本学生新人戦結果
5. オンライン予餞会模様
6. 2021年度各賞被表彰者紹介
7. 新入部員オンライン歓迎会模様
8. 2021年度総会報告 9. 寄附者ご芳名
10. 部奨学金受給者メッセージ
11. ご支援のお願い
女子大阪遠征・宮崎合宿に向けた助成金の募金について
部奨学金の安定的運用に向けた支援金の募金について
12. 夏合宿のお知らせ 13. 今後の活動予定



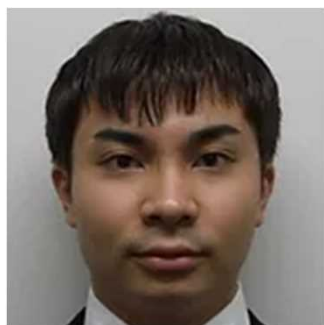
全日本選手権W49kg級を制した鈴木梨羅選手 (R03卒)

(写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)

新入部員紹介 (1/3)

今年度は男子5名・女子3名の計8名の新入部員を迎えました。将来活躍が期待される新人たちに以下の質問を投げかけてみました。プロフィールと合わせてご覧ください。

- ① なぜ早稲田でウエイトリフティングをやろうと思った？
- ② 試合で注目してほしいところは？
- ③ 早稲田に来て驚いたことは？
- ④ 今後の目標は？



奥野 伊真
(おくの いしん)

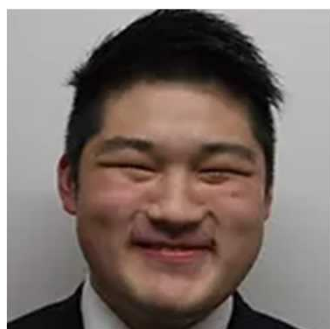
学部：スポーツ科学部

出身高校：北海道・札幌南高校

階級：73kg級

ベスト：S:103kg / C&J:125kg

- ① スポーツ科学を学ぶのに最も良い学校だと思ったから
- ② 一試合ごとの成長
- ③ 全国トップレベルの選手と出会い、自分の常識が打ち壊されたこと
- ④ インカレに出場できる選手になること



菊地 力哉
(きくち りきや)

学部：スポーツ科学部

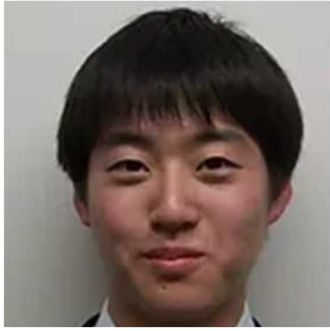
出身高校：茨城県・磯原郷英高校

階級：102kg級

ベスト：S:140kg / C&J:172kg

- ① 先輩後輩の仲が良く、気軽に質問できると思ったから
- ② 僕の試技全部
- ③ 選手のレベルが高いことと、キャンパス間の移動距離が長いこと
- ④ 大学記録更新、インカレ団体優勝

新入部員紹介 (2/3)



須藤 之博
(すとう ゆきひろ)

学部：スポーツ科学部

出身高校：埼玉県・埼玉栄高校

階級：89kg級

ベスト：S:130kg / C&J:157kg

- ① 学業や部活動において良い指導を受けられると思ったから
- ② 楽しく試合するところ
- ③ 環境がとても良いところ
- ④ インカレで個人優勝して、団体優勝に貢献すること



長谷川 元基
(はせがわ もとき)

学部：スポーツ科学部

出身高校：京都府・鳥羽高校

階級：96kg級

ベスト：S:135kg / C&J:163kg

- ① スポーツ科学の知識をウエイトリフティングに活かし、競技力の向上に繋げることができると思ったから
- ② 力強いフォーム
- ③ 選手のウエイトリフティングに対する意識が高いこと
- ④ インカレの選手になり団体の得点に貢献すること



吉野 真太郎
(よしの しんたろう)

学部：スポーツ科学部

出身高校：埼玉県・埼玉栄高校

階級：81kg級

ベスト：S:124kg / C&J:150kg

- ① 姉が早稲田出身で憧れたため
- ② スナッチもジャークも両方
- ③ 先輩方や同期のレベルが高いこと
- ④ インカレに出場し優勝すること



堤 茉央
(つつみ まお)

学部：スポーツ科学部

出身高校：滋賀県・安曇川高校

階級：55kg級

ベスト：S:81kg / C&J:100kg

- ① 文武両道でき、さらに競技力向上できると思ったから
- ② バーベルを持ってからの集中力
- ③ 選手のレベルが高いこと
- ④ インカレで個人優勝し、チームに1点でも多く貢献すること



徳田 七海
(とくだ ななみ)

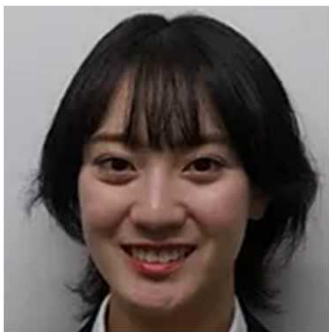
学部：スポーツ科学部

出身高校：埼玉県・埼玉栄高校

階級：59kg級

ベスト：S:73kg / C&J:95kg

- ① インカレで個人・団体ともに優勝を目指すことができるから
- ② 新記録に挑戦している姿
- ③ 世界大会に出場するなど選手のレベルが高いところ
- ④ 先輩方に一日も早く追いつき、インカレに出場して個人・団体ともに優勝し部に貢献すること



溝端 しの
(みぞばたしの)

学部：スポーツ科学部

出身高校：兵庫県・三木東高校

階級：49kg級

ベスト：S:60kg / C&J:75kg

- ① 文武両道で学生生活を送りたかったから
- ② 見た目からは想像できない脚の強さ
- ③ 部員同士とても仲が良く、環境が良いこと
- ④ 階級に見合った重量まで記録を伸ばすこと



全日本選手権結果 (1/2)

4月28日～5月1日、愛媛県新居浜市の新居浜市市民体育館で全日本選手権が開催されました。

男子は、73kg級で佐藤康太郎選手、67kg級でOBの生頼永人選手がメダルを獲得しました。

女子は、吉武温子選手が76kg級でスナッチ100kgの大学新記録をマークし優勝を果たしました。また、OGでコーチの鈴木梨羅選手も49kg級を制したほか、佐藤日路選手が45kg級で2位、OGの吉野千枝里選手が87kg級で2位と活躍しました。

令和4年度 第82回全日本ウエイトリフティング選手権大会

階級	選手名	学部学年 年次所属	BEST				TOTAL	
			Snatch	順位	C&Jerk	順位	記録	順位
M67	生頼永人	H30卒/佐賀県スポーツ協会	126	4位	159	3位	285	2位
M67	木村勇喜	R03卒/自衛隊体育学校	126	3位	155	5位	281	4位
M73	佐藤康太郎	スポーツ科学部4年	138	4位	177	3位	315	3位
M81	知念勇樹	R03卒/早稲田大学大学院	123	6位	170	3位	293	6位

令和4年度 第36回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会

階級	選手名	学部学年 年次所属	BEST				TOTAL	
			Snatch	順位	C&Jerk	順位	記録	順位
W45	佐藤日路	スポーツ科学部3年	54	2位	73	1位	127	2位
W49	安嶋千晶	H31卒/佐賀県スポーツ協会	78	3位	97	4位	175	4位
W49	鈴木梨羅	R03卒/ALSOK	81	1位	106	2位	187	1位
W55	吉田いぶき	スポーツ科学部3年	68	10位	95	6位	163	9位
W55	原志歩	スポーツ科学部2年	80	5位	90	10位	170	6位
W59	小堀美穂	R04卒/宇都宮市役所	74	9位	101	6位	175	8位
W59	橋本夏実	スポーツ科学部2年	84	4位	104	4位	188	4位
W71	柏木麻希	H31卒/宮津天橋高校・教	95	3位	112	5位	207	4位
W71	田中美奈	スポーツ科学部3年	86	8位	108	9位	194	8位
W76	吉武温子	スポーツ科学部4年	100 UR	1位	116	2位	216	1位
W87	吉野千枝里	H25卒/警視庁	88	3位	117	1位	205	2位

【凡例】U：大学 R：新記録

いつも応援していただきありがとうございます。

4月に開催された全日本女子ウエイトリフティング選手権大会に76kg級で出場し、初優勝。そしてスナッチ競技において大学新記録を達成することができました。4年生になり最初の試合で優勝できたことを嬉しく思います。

試合に出るのは昨年の東日本大学対抗戦以来で、いつも以上に緊張し、不安な気持ちもありました。その中でこのような結果を残すことができたのは、コーチ陣の先輩方や部員をはじめ沢山の方々の支えがあったからこそです。おかげさまで一本一本の試技を思い切り楽しめました。

一方で、C&ジャーク3本目での失敗など発見できた課題も多い試合でした。今回の結果に慢心することなく反省を活かし、12月の全日本大学対抗戦で個人・団体ともに良い結果を残すことができるよう励んで参ります。今後ともご声援のほどよろしくお願いいたします。

吉武温子（スポーツ科学部4年）



(写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)



W49kg級・鈴木梨羅選手
(R03卒/ALSOK)

OB・OG参加選手 競技模様



W59kg級・小堀美穂選手
(R04卒/宇都宮市役所)



M67kg級・木村勇喜選手
(R03卒/自衛隊体育学校)



M67kg級・生頼永人選手
(H30卒/佐賀県スポーツ協会)



M81kg級・知念勇樹選手
(R03卒/早稲田大学大学院)



W49kg級・安嶋千晶選手
(H31卒/佐賀県スポーツ協会)



W87kg級・吉野千枝里選手
(H25卒/警視庁)



W71kg級・柏木麻希選手
(H31卒/宮津天橋高校・教)

(写真：日本ウエイトリフティング協会 Facebook公式ページより転載)

全日本学生個人戦結果 (1/2)

5月13日～15日、大阪府羽曳野市のはびきのコロシアムで全日本学生個人戦が開催されました。

男子は優勝こそなかったものの、81kg級2位の駒阪勇氣選手を筆頭に、102kg級で菊地力哉選手が2位、96kg級で長谷川元基選手が3位入賞を果たすなど、重いクラスでの躍進が目立ちました。

女子は、45kg級で鈴木莉乃選手、55kg級で原沙織選手、59kg級で橋本夏実選手、+87kg級で吉田琴乃選手がそれぞれ優勝し、早稲田が4階級を制しました。また、堤茉央選手が55kg級2位、佐々木暁選手が49kg級3位、他の3・4年生も入賞を果たすなど、インカレ連覇に向けて弾みをつけました。

令和4年度 第68回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会

階級	選手名	学部学年	BEST				TOTAL	
			Snatch	順位	C&Jerk	順位	記録	順位
M81	駒阪勇氣	スポーツ科学部3年	130	1	155	4	285	2
M81	吉野真太郎	スポーツ科学部1年	121	6	145	8	266	8
M89	須藤之博	スポーツ科学部1年	123	6	150	7	273	7
M96	長谷川元基	スポーツ科学部1年	133	2	163	3	296	3
M102	菊地力哉	スポーツ科学部1年	134	5	172	2	306	2
M+109	西堅也	スポーツ科学部4年	130	5	165	6	295	6
W45	鈴木莉乃	スポーツ科学部4年	59	1	82 CR	1	141 CR	1
W49	佐々木暁	社会科学部3年	66	4	83	3	149	3
W49	溝端しの	スポーツ科学部1年	56	9	71	8	127	9
W55	原沙織	スポーツ科学部4年	79	2	106 CR	1	185 CR	1
W55	堤茉央	スポーツ科学部1年	81 CR	1	100 CS	2	181 CR	2
W59	橋本夏実	スポーツ科学部2年	84	1	102	1	186	1
W64	久保美波	社会科学部4年	71	7	91	5	162	5
W64	加茂千弦	スポーツ科学部3年	80	3	98	4	178	4
W71	伊藤紗彩	スポーツ科学部3年	85	2	101	5	186	5
W+87	吉田琴乃	スポーツ科学部3年	84	1	105	1	189	1

【凡例】C: 大会 R: 新記録 S: タイ記録



4月から早稲田大学で練習を開始し、大学生として最初の大会が今回の全日本学生個人戦でした。初めて早稲田大学のツリタイを着て、改めて早稲田大学ウエイトリフティング部に入れたことを誇りに思いながら大会に臨みました。

個人戦を振り返って良かった点は6本成功できたこと。スナッチ、C&ジャークともに自己ベストを更新できたことです。一方、課題として優勝した選手とトータルで約30キロという大差をつけられてしまったことが挙げられます。

今後も各大会で戦っていく相手になるので、まず優勝した選手といい勝負ができるくらいに記録を伸ばし、さらに追い抜いていきたいです。現在は11月に開催される全日本大学対抗選手権に向けて課題の克服に取り組んでいます。

早稲田大学には自分よりも強い先輩方がいるので、刺激をもらいながら負けないうくらい練習に励んでいきたいです。

菊地力哉 (スポーツ科学部1年)

全日本学生個人戦結果 (2/2)

はじめに全日本学生個人戦に際し、たくさんのご声援、サポートありがとうございました。私自身、怪我をしてコロナ禍になってから、なかなか結果が残せていなかったのですが、ようやく優勝することができて素直に嬉しく思います。全日本学生個人戦での優勝は、1年生のとき以来で3年ぶりでした。

一方で、多くの課題を見つけることができた試合でもありました。やはりC&ジャークに対してスナッチの記録、内容、技術面においてまだまだ練習と自信が足りていないと感じています。これらの課題を解決するために、悔いのないようしっかりと取り組んでいきます。

私の目標は、今年のインカレで団体・個人ともに優勝することです。そのためにあと数ヶ月で何をしなければならぬのか、何をすべきなのかを明確にして、チームとしても個人としても必ずいい結果で終われるように精進してまいりますので、今後ともご声援、サポートよろしくお願いたします。

原沙織 (スポーツ科学部4年)



全日本学生選抜/全日本学生新人戦結果

3月3日～6日、埼玉県上尾市のスポーツ総合センターで全日本学生選抜並びに全日本学生新人戦が開催されました。早稲田は、女子55kg級で原沙織選手が大会新記録を挙げて優勝したほか、男女とも多くの選手がメダルを獲得するなど、コロナ禍を乗り越えたチームにとって実り多い大会となりました。

令和3年度 第18回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会								
階級	選手名	学部学年	BEST				TOTAL	
			Snatch	順位	C&Jerk	順位	記録	順位
M81	生頼啓暉	スポーツ科学部4年	124	3位	162	1位	286	1位
M81	西野溪心	スポーツ科学部4年	130	1位	150	3位	280	3位
M109	柏木良太	スポーツ科学部3年	138	1位	172	1位	310	1位
W55	原沙織	スポーツ科学部3年	75	3位	104 CR	1位	179 CR	1位
W59	小堀美穂	スポーツ科学部4年	74	4位	94	4位	168	4位
W59	原志歩	スポーツ科学部1年	78	1位	98	1位	176	1位
W64	橋本夏実	スポーツ科学部1年	79	4位	105	4位	184	3位
W71	伊藤紗彩	スポーツ科学部2年	86	1位	106	4位	192	1位
W71	田中美奈	スポーツ科学部2年	84	3位	107	2位	191	3位
W+87	吉田琴乃	スポーツ科学部2年	78	2位	105	2位	183	2位

【凡例】C：大会 R：新記録

令和3年度 第66回全日本学生ウエイトリフティング新人選手権大会								
階級	選手名	学部学年	BEST				TOTAL	
			Snatch	順位	C&Jerk	順位	記録	順位
W45	佐藤日路	スポーツ科学部2年	52	1位	71	1位	123	1位
W49	佐々木暁	スポーツ科学部2年	0	-	77	1位	0	-
M89	小山秀斗	スポーツ科学部1年	110	4位	145	3位	255	3位
M109	田中稜真	スポーツ科学部1年	124	1位	145	2位	269	2位

※学年表記は大会開催当時

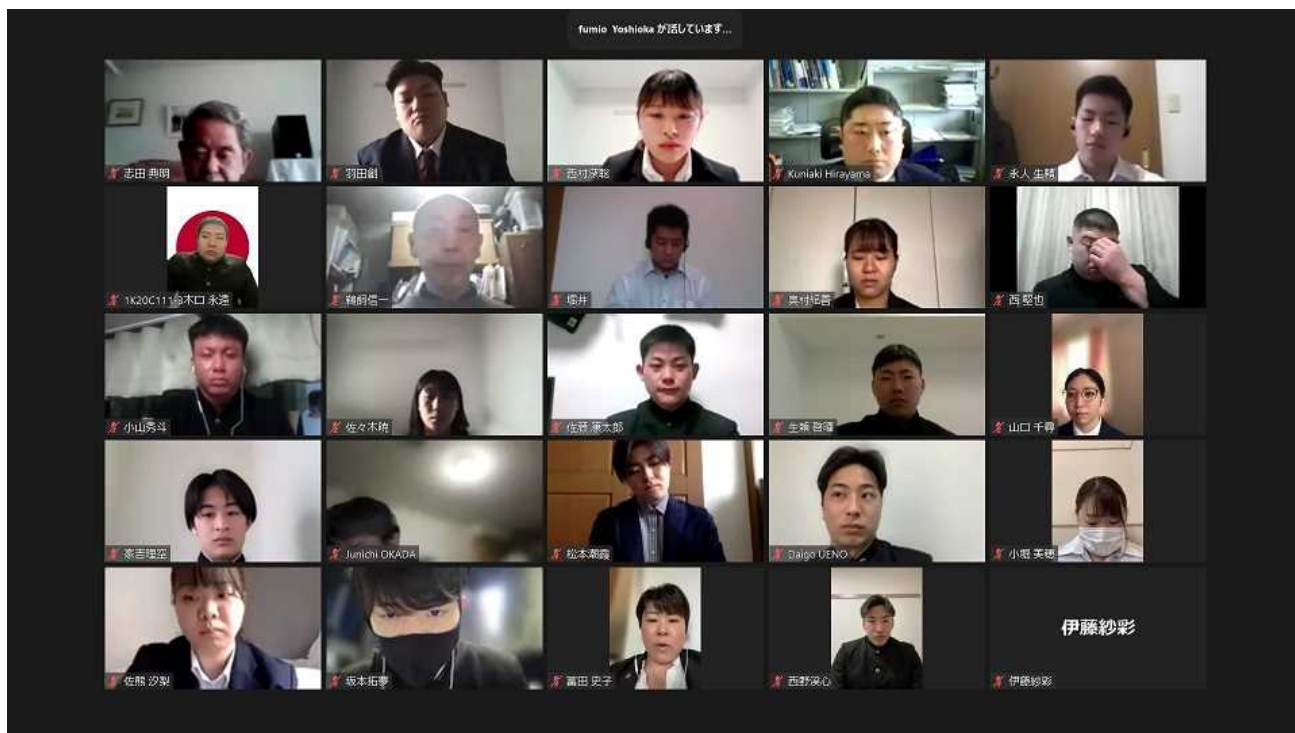
オンライン予餞会模様

3月13日、オンライン予餞会を開催しました。

はじめに久保主務から卒部生12名の紹介があり、岡田部長、志田会長からコロナ禍の制約がある中で発揮されたリーダーシップと男・女インカレの成果に対して称賛と労いの言葉がかけられました。

2021年度のMVPと特別表彰に続き、当会から女子部員20名（2021年度の4年生～1年生全員）にインカレ優勝を称える記念のメダルを贈呈し、OGを代表して富田史子先輩（H19卒）から祝辞をいただきました。続いて卒部記念品の贈呈が行われ、卒部生一人ひとりが記念品に選んだ写真の説明とともに早稲田で過ごした4年間を振り返りながら部や競技に対する思いや今後に向けた決意を語ってくれました。

最後は吉岡監督、OB・OG参加者を代表して鶴飼信一先輩（S46卒）から激励の言葉をいただき、宮下主将リードのもと参加者全員で早稲田アスリート宣言を復唱して締めました。



卒部生氏名（学部）

上野大瑚（スポーツ科学部）	生頼啓暉（スポーツ科学部）	岡村幸尚（社会科学部）
黒川貴徳（スポーツ科学部）	西野溪心（スポーツ科学部）	森田恭平（教育学部）
奥村紀香（スポーツ科学部）	後藤虹海（社会科学部）	小堀美穂（社会科学部）
佐熊汐梨（社会科学部）	西村深聡（スポーツ科学部）	山口千尋（スポーツ科学部）

2021年度 特別表彰

区分	達成者	階級	種目	記録
大学公認最高記録【男子】	佐藤康太郎	73kg級	C&ジャーク	183kg

早稲田ウエイトリフティングの今後さらなる発展に向けた選手激励のため、公認最高記録樹立達成を表彰し、副賞を授与します。副賞は以下のとおり授与します。

- ・日本公認最高記録 10,000円相当
- ・大学公認最高記録 5,000円相当
- ・ジュニア日本公認最高記録 5,000円相当



2021年度各賞被表彰者紹介

2021年度わが部の被表彰者をご紹介します。卒部生は前主将・生頼啓暉先輩が「小野梓賞」を受賞、学生トレーナーを務めた黒川貴徳先輩が「優秀学業成績個人賞」を受賞されました。受賞された皆さん、誠におめでとうございます。

ウエイトリフティング部 被表彰者（敬称略）

- 【優秀学業成績個人賞】 黒川貴徳
- 【小野梓記念スポーツ賞】 生頼啓暉
- 【個人名誉賞】 原志歩 佐藤康太郎 生頼啓暉 柏木良太
- 【団体名誉賞】 ウエイトリフティング部（女子）
- 【監督表彰】 吉岡史生

（『早稲田スポーツ年鑑 2021』より）

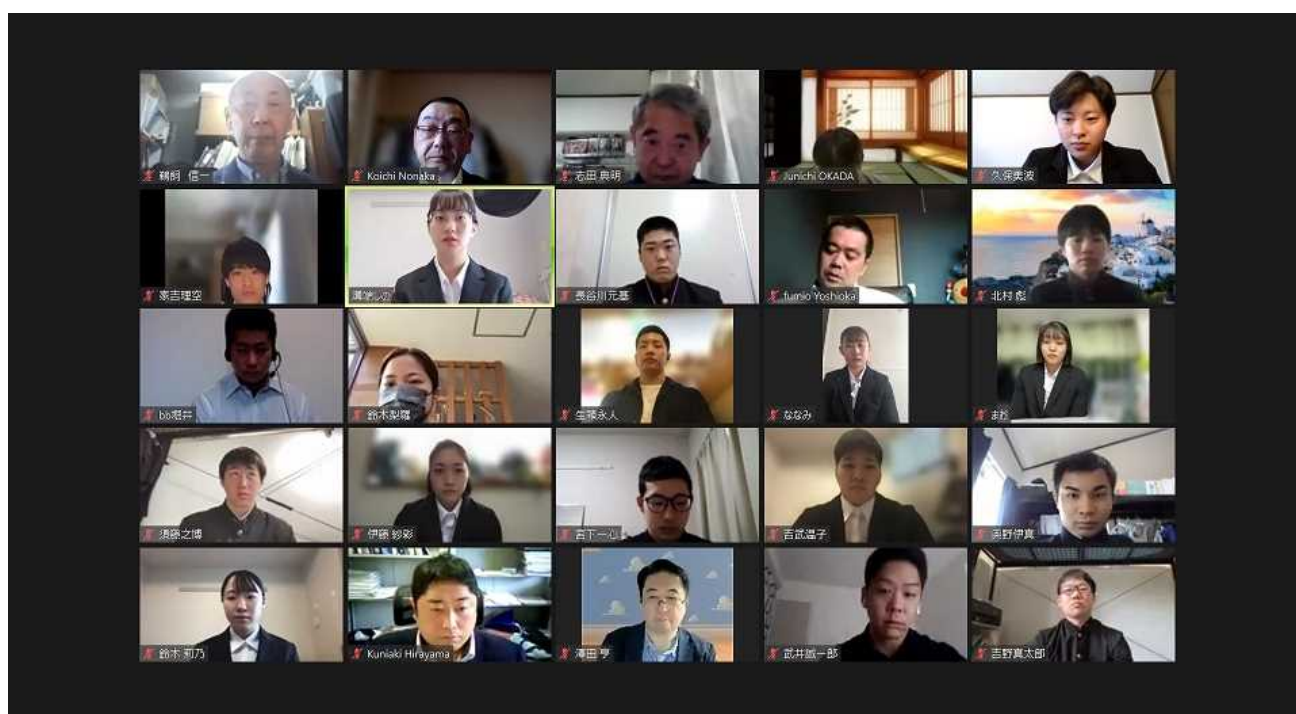
新入部員オンライン歓迎会模様

5月22日、新入部員オンライン歓迎会を開催しました。

歓迎会は久保主務による新入部員紹介と岡田部長、志田会長の挨拶で始まり、指導スタッフとOB・OG参加者紹介の後、野中幹事長から当会の体制や部活動支援の取り組みについて紹介を行いました。

続いて、この春に入部した1年生8名と途中入部の学生トレーナー2名（北村さん・4年、山下さん・3年）一人ひとりが自己紹介と将来に向けての抱負を語りました。

最後はOB・OG参加者を代表して鶴飼信一先輩（S46卒）から歓迎の言葉、吉岡監督の挨拶に続き宮下主将リードのもと参加者全員で早稲田アスリート宣言を復唱して締めました。



新型コロナウイルスの影響により2021年度総会も昨年同様集まったの開催が困難な状況となりました。先般ご案内のとおり、会員の皆さまにメール配信・郵送にて資料をお配りし、付議事項等の報告を行うことで開催に替えさせていただきました。皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げます、謹んで結果をご報告いたします。

- 資料送付（総会参加）会員数： 217名
内訳： メール送付178名、郵送39名
- 審議事項（全7項目）結果： 賛成（議長＝会長一任）多数、反対0件

以上の結果について6月27日、志田典明会長に報告を行い、決議いたしました。

なお、以下に総会資料の目次を掲載いたします。付議事項の要旨につきましては先般送付させていただいた総会資料をご確認いただきますようお願い申し上げます。

資料の再送をご希望の場合は、H01卒・野中弘一（幹事長）宛てにご連絡ください。

◆2021年度総会資料目次

1. はじめに 1-1. 会長あいさつ 1-2. 監督あいさつ（2-3頁）
2. 審議事項
 - 2-1. 2021年度活動報告及び収支決算報告/監査報告に関する件（4-7頁）
 - 2-2. 女子大阪遠征・宮崎合宿に向けた助成金の募金に関する件（8頁）
 - 2-3. 2021年度特別表彰に伴う褒賞に関する件（9頁）
 - 2-4. 2021年度女子インカレ優勝に伴う記念品製作に関する件（9頁）
 - 2-5. 会計年度の変更（会則の改定）に関する件（10頁）
 - 2-6. 2022年度活動計画及び収支予算に関する件（10～12頁）
 - 2-7. 役員を選任に関する件（13頁）

寄付者ご芳名

部の育成発展並びに当会の運営に対し多大なるご支援を賜りました。心から感謝申し上げます。

- 部遠征等助成金・寄付（女子インカレ金沢遠征助成金を含む・2021年度）
 - 100,000円 荒木宏久(S55)・野中弘一(H01)
 - 50,000円 山内英雄(S42)・鵜飼信一(S46)・志田典明(S51)・根本進(H05)
 - 40,000円 相場浩徳(S58)
 - 30,000円 岡田正三(S45)・岩永勉(S47)
 - 20,000円 谷川吉史(S45)・石橋義久(S51)・海崎良仙(S54)
 - 12,000円 鈴木伊能勢(S43)
 - 10,000円 島田雄章(S37)・村岡芳彦(S44)・上野稔(S45)
 - ・牧野雄児(S46)・正木隆至(S48)・野口清志(S49)・鷺田徹夫(S49)
 - ・町田直明(S52)・猪狩英則(S59)・加納修(S59)・松澤晋(S59)
 - ・森田稔哉(H07)・清水大輔(H11)
 - 8,000円 高橋靖夫(S57)
- ◆指定寄付（ウエイトリフティング部指定・2021年度）
 - 50,000円 谷川吉史(S45)
 - 30,000円 海崎良仙(S54)

ご案内のとおり部奨学金は、早稲田大学の寄付制度によるウエイトリフティング部指定寄付を財源として運用を続けていますが、2021年度は部員4名からの出願に対し計1,400,000円の給付を実施しています。

このたび受給者の皆さんから部奨学金活用の成果について報告をいただきましたのでご紹介いたします。

※受給者の個人名記載は控えさせていただきます。

部奨学金をいただいたおかげで、練習に必要なケア用品やトレーニングウェアを揃えることができ、十分な環境で競技に取り組むことができました。練習が快適に行えるようになり、競技力向上にもつながりました。この一年は怪我でセルフケアの時間が多かったのでケア用品が役立ちました。

また、学費のほか生活費や部活動費を実家からの仕送りに頼っていますが、家計の負担が軽減されたため、アルバイトを増やす必要がなくなりました。そのおかげで学業にも励むことができ、今学期は成績を上げることができました。授業で学んだことを競技にも繋げていきたいと思います。

今後も部活動と学業を両立し、目標である「インカレ個人優勝・団体優勝」「大学記録の樹立」に向け着実に成果を挙げてまいります。ご支援をありがとうございました。

部奨学金のご支援をいただき、学業・部活動ともに頑張ることができました。

学業においては、全ての授業に出席し、学部以外で教職の授業も受講することができました。GPAもよいスコアが取れたので、第一志望のコースに進級することができました。

部活動においては、全日本選手権でメダルを獲得したほか、インカレに参加させていただいたり、国際大会の代表に選んでいただいたり（派遣中止）と、成果を挙げるすることができました。

今後も文武両道を継続していきます。授業は対面形式が増えて移動時間の増加が予想されます。部活動は後輩が入ってくるため自分自身が行動で示していくことが重要になります。環境が変化していく中でも文武両道を実践できるよう精進してまいります。

部奨学金をいただき、ケア用品やスポーツウェアの購入等に役立てることができました。コロナウイルス感染症により練習時間が限られているためケアにあてる時間が短くなっていましたが、ケア用品を揃えることができ自宅で怪我の予防に努めることができました。アルバイトの時間も限られているなか、整体や鍼灸にも通うことができとても助かりました。

今年は上級生としての自覚を持ち、学業では様々な人と関わり意見を交わしながら知識や考えを深めていきたいと思います。教職課程もとっているため、自分ができるようになるだけでなく他人に教えることができるようになりたいと考えています。

競技では、インカレで個人優勝し、チームに貢献できるよう練習に励みます。

部奨学金をいただき、ありがとうございました。

怪我もあり、思うような成績が残せませんでした。東日本/全日本大学対抗戦では一選手として団体優勝に貢献することができました。嬉しいことと悔やまれることが半分ずつの一年でした。

学業においては、これまでで最も高いGPAを取ることができました。4年になって卒業論文と部活動運営、練習に専念できるように1～3年のうちに頑張るという課題を達成できたと感じています。

2021年は、自分自身の目標である「インカレ団体/個人優勝」を達成するための経験を積み、競技面でも学業面でも新たな課題を見つけることができました。それらを踏まえて、2022年も精進していきたいです。

総会資料でもご案内のとおり、ポストコロナでの部活動継続に向けて2022年度も部財政援助の取り組みを企画いたしました。取り組みの趣旨をご理解の上、皆さまのご協力を賜れますと幸いです。

【女子大阪遠征・宮崎合宿に向けた助成金の募金について】

今年度の女子インカレは、12月17日～18日に大阪府羽曳野市で開催される予定です。女子部員18名を主体とした遠征になりますが、往復交通費と宿泊費だけでも概算で120万円もの費用がかかる見込みです。女子は2005-2006年度以来の「連覇」を目指しての対抗戦となります。部員が安心してトレーニングに励み、目標とする成果を挙げられるよう、部の経済的負担軽減に向けてOB/OGの皆さまから広く助成金を募り援助に充てることとします。

また、2020-2021年度はコロナ感染拡大により合宿は控えざるを得ない状況でしたが、今年度は3年ぶりに、9月1日～4日の3泊4日、宮崎市で行う予定です。往復便にLCCを利用するなど経費の節減を図るものの総額で150万円ほどかかる見込みです。シーズン後半の各大会に向けてチームとして弾みをつける重要なイベントですので、本合宿も助成金の目的に追加し、募金目標額を650,000円とします。

なお、募金はOB・OGが対象です。保護者の皆さまはご心配なさらなくてください。

【募金目標額】

650,000円

宮崎：一人10,000円×42名分（部員37名＋指導スタッフ5名）

大阪：一人10,000円×23名分（女子18名＋指導スタッフ5名）

【募集金額】

一口5,000円（5,000円以上1,000円単位で任意）

【募集期間】

2022年12月末まで（予定）

【申込方法】

当会口座に直接お振り込みください。

振込先： 金融機関／支店 = **みずほ銀行 新宿新都心支店**
科目／口座番号 = **普通 8220922**
受取人名 = **トウモンウエイトリフティングクラブ**

【部奨学金の安定的運用に向けた支援金の募金について】

コロナ・ウクライナ情勢による日本経済への影響が懸念されており、わが部においても家計事情等で修学の継続が難しくなる部員が出てくるのが懸念されます。志を持って早稲田に進学・入部してきた後輩たちが誰一人として経済的理由により修学をあきらめることのないよう準備しておきたいと存じます。

【申込方法】

早稲田大学の寄付制度による「ウエイトリフティング部」指定寄付

※ 本制度による寄付は、寄付金控除の対象となります。

指定寄付は通年、以下のURLからお申込みいただけます。

<https://kifu-form.waseda.jp/waseda/exp/explanation.htm>

[操作手順]

1. 上記URLのページで『下記(上記)の条件に同意し「寄付を申し込む」』をクリック
2. STEP1申込入力で必要事項を入力、「寄付の種類」欄で「**体育各部または早稲田スポーツ全般**」を選択、続いて「**指定先**」欄で「**ウエイトリフティング部**」を選択
3. 決済情報入力後、『入力内容確認へ』をクリック、その後、STEP2確認画面～STEP3完了へと進む

夏合宿のお知らせ

以下のとおり合宿を予定しています。

日程： 9月1日(木)～4日(日)

場所： KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園 トレーニング場
宮崎市大字熊野2206-1 TEL 0985-58-5588(総合受付)
・宮崎空港からタクシー10分 ・JR日南線運動公園駅徒歩5分

宿舎： AOSHIMA FISHERMAN'S BEACHSIDE HOSTEL & SPA
宮崎県宮崎市青島3-1-53 TEL 0985-77-5525
・宮崎空港からタクシー17分 ・JR日南線青島駅徒歩3分

コロナ感染状況等により予定を変更する場合があります。参加ご希望の場合は事前にお問い合わせください。

連絡先： 主務・久保美波 副務・加茂千弦 電話 03-3202-1090 (部室)

今後の活動予定

部や当会の活動は、現在も引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関係機関からの指針に従い三密（密閉・密集・密接）を避ける工夫をしながら続けているところです。

競技大会や関連行事について現時点で最新の状況をお知らせしますが、感染の再拡大が予断を許さない状態ですので今後変更となる可能性があります。どうぞご注意ください。

■ 競技大会（～2023年3月）

大会名	会期	場所	備考
全日本マスターズ選手権	9月8日(木)～11日(日)	琴丘総合体育館 (秋田県三種町)	
早慶定期戦	9月17日(土)	日吉記念館 B1Fスタジオ	
国民体育大会	10月6日(木)～10月10日(月)	小山市立体育館 (栃木県小山市)	
全日本社会人選手権 全日本女子選抜選手権	11月2日(木)～6日(日)	士別市総合体育館 (北海道士別市)	
全日本大学対抗選手権1部 (男子インカレ)	11月29日(火)～12月1日(木)	サイデン化学アリーナ (埼玉県さいたま市)	
全日本大学対抗選手権女子 (女子インカレ)	12月17日(土)～18日(日)	はびきのコロセラム (大阪府羽曳野市)	
全日本ジュニア選手権	3月3日(金)～5日(日)	四日市市総合体育館 (三重県四日市市)	
全日本学生選抜選手権 全日本学生新人選手権	3月9日(木)～12日(日)	スポーツ総合センター (埼玉県上尾市)	

※ 大会は観戦・応援を目的とした入場に制限が設けられる可能性があります。ご注意ください。

■ 関連行事

行事	日程	場所	備考
バーベル会（早慶親睦ゴルフ会）	開催中止		
稲門体育会ゴルフコンペ	10月12日(水)	千葉カントリークラブ梅郷コース	
稲門体育会会員総会	11月18日(金)	リーガロイヤルホテル東京	